



ジュニア司書養成講座報告

図書館では児童生徒が司書として知識や技術を学び、図書館業務を経験することを通して、読書活動推進の担い手を育成し、読書の普及と図書館及び移動図書館の利用促進を図りたいとの思いからジュニア司書養成講座を開講しました。
この夏、ジュニア司書をめざす10名の受講生の様子をご報告します。

◎ 第2回 7/24(金)

基礎研修2～司書のノウハウを学ぼう～「本の分類と整理」・「図書館とインターネット」



■ 第2回目の講座は前回できなかったアイスブレイクから。
ボールを使ったアイスブレイクは受講生の顔と名前を覚えるにはもってこいの手法。
中学生グループ、小学生グループはすでに知り合いのようですが、中学生と小学生の枠を超えたコミュニケーションがうまくいか心配でした。
しかし、キャッチボールをしていくうちに緊張もほぐれ、遠慮がちだった小学生も中学生とうちとけていました。
もちろん名前は全員覚えられたようです。

■ 続いての基礎研修2の前半では、図書館の本はどのように分類され書架に配置されているのかについて学びました。
眠くなるような講義が続きましたが、全員、日本十進分類の一桁目を覚えることができました。

後半は図書館でコンピュータやインターネットがどのように使われているかについての講義。
リクエスト本処理の過程から図書館システムの使い方やインターネット検索、千葉県内横断検索の使い方について学びました。



■ 前回の基礎研修1と今回の基礎研修2を終えるといよいよカウンター実習が始まります。
カウンター実習は合計3回。
数少ないカウンター実習をスムーズにこなせるよう機械操作練習を行いました。

機械操作の注意事項を聞いた後、お客様役と職員役に分かれ、貸出、返却の操作をそれぞれ練習しました。

最初のうちは、人前で声を出すことに照れが見えましたが、だんだん真剣な表情に変わっていきました。

